

# 与野西北八王子学校区学校運営協議会会報

## 令和5年度コミュニティ・スクール始動！

### ～ めざす子ども像の具現化への取組を総括 ～

6月8日（木）に第1回与野西北八王子学校区学校運営協議会が与野西北小学校で開催されました。委嘱状の交付を行い、学校運営協議員25名による令和5年度学校運営協議会が始動しました。

3年に及んだ新型コロナウイルス感染症への対応も徐々に規制が緩和され、「アフターコロナ」と称されるように社会も以前の状態に戻るものと、より良く変化した状態で実施されるものと様々です。私たちは子どもたちの未来のために単に「ビフォーコロナ」に戻るのではなく、私たちにとって最善の方法を取捨選択しながら毎日精一杯努力し生活しています。今、ChatGPTに代表されるような情報化やグローバル化といった社会変化がますます急激に進展しているなかで、家庭、地域、学校が当事者意識をもって連携し、地域とともにある学校づくりの実現や協働・連携した子どもの育成がまさに求められています。与野西北小学校と八王子中学校は学校区が同じで、各校のめざす子ども像も近いことから今年度も2校合同でのコミュニティ・スクールを実施します。

第1回学校運営協議会では、改めてコミュニティ・スクールは学校が抱えている課題等を解決する組織であることや、学校・地域・家庭が協働して地域の未来を担う児童の育成に携わること等について確認を行いました。その後、めざす子ども像を昨年度に引き続き「地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち」に決定しました。めざす子ども像の実現のため昨年度、家庭、地域、学校が「挨拶」について当事者意識をもって取り組んできました。その成果と課題について家庭、地域、学校の3グループに分かれて熟議を行い、取組を総括しました。各グループから出た主な意見は以下の通りです。

家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校と小学校の交流は大変有意義。</li> <li>・児童からすすんであいさつすることができている。</li> <li>・家庭でも今まで以上に食事の際にあいさつできるようになった。</li> <li>・知り合いには自然にできるので、知り合いを増やす取組が必要。</li> <li>・継続して取り組み、習慣づけることが大切。</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の児童生徒は総じて礼儀正しい、おおむね良好な状況である。</li> <li>・昨年度は確実にあいさつできる児童生徒が増加した。</li> <li>・学校内ではよくできている。</li> <li>・大人たち同士が活発にあいさつを交わし見本となるようにする。</li> <li>・地道に取組をすすめることが大切。</li> <li>・子どもたちに目を向けることで、心配な子どもに気付くことができた。</li> <li>・生徒の歩行マナーや自転車の乗り方については気になる。</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの意義が浸透してきている。</li> <li>・中学生が来てくれることで児童の意識が高まった。</li> <li>・小学校の校門を通過する中学生はほぼ100%あいさつしてくれる。</li> <li>・知らない子には挨拶しづらい、声掛け事案にならないか心配。</li> <li>・地域行事への参加。</li> <li>・「地域の方に見守られている」アンケート調査の数値が低調。</li> </ul>

上の意見を受け、より充実した取組を継続・推進していくことになりました。また、今後、SNSにおけるトラブル頻発への対応や学校内外の安全対策について検討課題とすることとなりました。

その他、会長・副会長の選出、各学校の学校経営の基本方針等のさいたま市学校運営協議会規則第5条に基づいた承認やいじめ防止対策委員会について話し合いが行われました。